



# TSUBOTAJUKU

「塾生の人生を応援する」  
そんなコンセプトで贈る塾通信

## ★今月のトピックス★

### 「側で見守る」

皆さんこんにちは！本郷3丁目校 講師の釜です。

最近、一気に寒くなりましたね。

おでんやお鍋がおいしい季節になってきました！

美味しいものを食べて、暖かくして  
お互い頑張っていきましょうね！

今回のトピックスは  
「側で見守る」です。

ぜひ、ご一読ください！



## ● 11月の坪田塾カレンダー ●

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	12/1	12/2	12/3



坪田塾  
TSUBOTA JUKU

## 「側で見守る」

ついに、我が子が2歳の誕生日を迎えました。

走り回る彼は驚くほどよくこけます。

どこに段差が～？

ってところでも、見事にすこーんとかけます。

このとき僕ら夫婦は、彼が起き上がって来るのを**待ちます**。

泣いてても、起き上がるまで待ちます。

そりゃもう、すぐにでも駆けつけてダッコしてあげたいけれど

こころを**鬼**にして待ちます。

だって、彼は自分で立ってこっちに走ってくるんだから。

「ひとりで立てたの～すごいね～」

「ここ痛かったんだ～でも自分でパンパンってできたね、えらいっ」

って言うと、これでもかかってくらい嬉しそうに、誇らしげに

**最高の笑顔**を返してくれます。

この表情を一度見てしまったら、また見ずにはられません。

次、こけたときも、そのまた次も

(これうそじゃなくホントにそんなくらいこけるんですよね。

しかもまた痛そうな砂利道とかで)

けど、すごいもんで、どんどんと泣かなくなって

起き上がるまでの時間もどんどん短くなって

こけても当然のように自力で立って走ってくるようになりました。

「どうだ、すごいでしょ。ほめてほめて」

って顔をして、こっちにくるわけです。

これを、最初から抱き上げて「大丈夫〜？」ってヨシヨシしてたら、

こけないようにずっと手を引いて歩いていたら、

こけちゃいそうな道は通らずに安全な道しか歩かせてなかったら、

この笑顔には**出会えてなかった**んですよ。あーよかった。

こんな子育てができるようになったのは、  
実は坪田塾で講師をしているからなんです。

先日ある中学生の子が、一次関数のグラフで苦戦していました。

わからないことを聞いてみると大切なポイントは何となくつかめていたので、  
1問解いてもらいました。

「これで合ってますか？」「ここから違いますか？」  
って何度も確認してくれるので  
「なるほど～そう思うんだね～なんでかな～教科書はなんて書いてる～」  
って言いながら、**見守り**続けました。

彼は見事に自分で**正しい考え方に辿り着いた**んです。  
もうね、**感動**して二人でがっちり握手しましたよね。

あの自分でできたんだっていう、あの**笑顔**。

**うれしさ**と**達成感**と、

ほんのり**自信**が混じったあの表情がもうたまりません。

「先生の教え方がうまいからわかりました」

よりも

「先生いなくてもわかるようになりました」

の言葉を聞くために、塾生もわが子もそっと側で**見守り、支え続けます。**